

年頭のご挨拶

阿蘇市議会議長 高藤 拓雄



市民の皆様方には、平成二十二年の新春をご健勝にてお迎えることと拝察し心からお慶び申し上げます。

地方行政を取り巻く諸情勢は、相変わらず先行き不透明で、極めて厳しい状況下にあることは皆様ご承知のとおりでございます。長引く世界経済不況、政権交代での事業仕分けによる国家予算の見直し等がその大きな原因です。

市議会といたしましては、国及び県の動静を逐次正確に把握し、市民生活の安心安全を基本理念としての行政サービスの遂行に邁進していく所存であります。機会がありましたら、議会傍聴席のほうにもたくさんの方の皆様にお越しいただきますようお願いいたしますと共に、議会に対しご意見、ご要望等を頂ければ幸いに存じます。

平成二十二年が、皆様にとりまして輝かしくすばらしい一年になりますようお祈りいたします。

阿蘇市議会副議長 田中 則次



皆様には輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、長期的不況の中、円高そして遂にはデフレ現象へ突入し、日本経済は今だその域を脱することなく新年を迎えたところであります。

国政においては政権交代が行われ、地方自治体にとりましては不透明な部分が多く残されておりあります。

さて、本市では佐藤市政が二期目に入り、更なる行財政改革を進めると共に福祉、教育、インフラ整備の向上を目指しています。

議会では政治倫理条例の制定、議員定数条例の改正（現行の議員定数26人を次の一般選挙から22人とする）を行いました。今後も市民の皆様の負託にこたえるべく、行財政運営の監視等に鋭意努力をしていく所存であります。

市民の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を市政発展のためにお寄せいただきたいと存じます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりましてご健康で幸多い年であることを心よりお祈り申し上げます。

総務常任委員長 山本章夫



世界的な経済不況の中、市でも不況感を実感しながらも新春を迎え、委員会といたしましては、豊かな自然と笑顔あふれる国際環境都市を目指し、市民の皆様方が世界に誇れる阿蘇として実感できる故郷づくりを全力を挙げて取り組んでまいりたいと思っております。

輝かしい未来の発展のため、市民の皆様方のご理解ご協力を心からお願いたしますとともに、本年が幸せで実り多き年でありますよう心からお祈りいたします。

文教厚生常任委員長 古木孝宏



昨年は、一昨年よりも2万人程度出生数が減少と発表があり、少子高齢化が一段と加速しています。本市におきましても少子化の波は避けられず、小中学校の統合がいよいよ現実のものとなりました。経済の低迷が続き、生活におきましても非常に厳しい状況ではありますが、子どもたちから高齢者まで安心して暮らせるやさしいまちづくりができればすように、委員会としてしっかりと取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

経済常任委員長 藏原博敏



阿蘇市誕生から6年目を迎えますが、執行部と議会は基本方針として、自然と環境を生かした安心で安全なまちづくりを進めてまいりました。近々のマスコミによる世論調査では、不況、閉塞感の打開策として環境、福祉での産業創出がクローズアップされており、私たちも先人から受け継いだ貴重な自然、環境を糧に、全力で基幹産業の振興に取り組んでまいります。

市民各位のご多幸とご繁栄を心からお祈りいたします。

建設常任委員長 阿南誠蔵



景気が低迷し公共投資が減少する厳しい環境の中で、市民生活の利便性の向上を図るため、多年にわたって私どもが望んでおります道路、上下水道、公営住宅等の環境整備の充実を図ることは極めて重要であります。今後も適切かつ効率的に事業を実施して、より快適な生活環境の提供に役立つよう努めてまいります。

市民各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。